

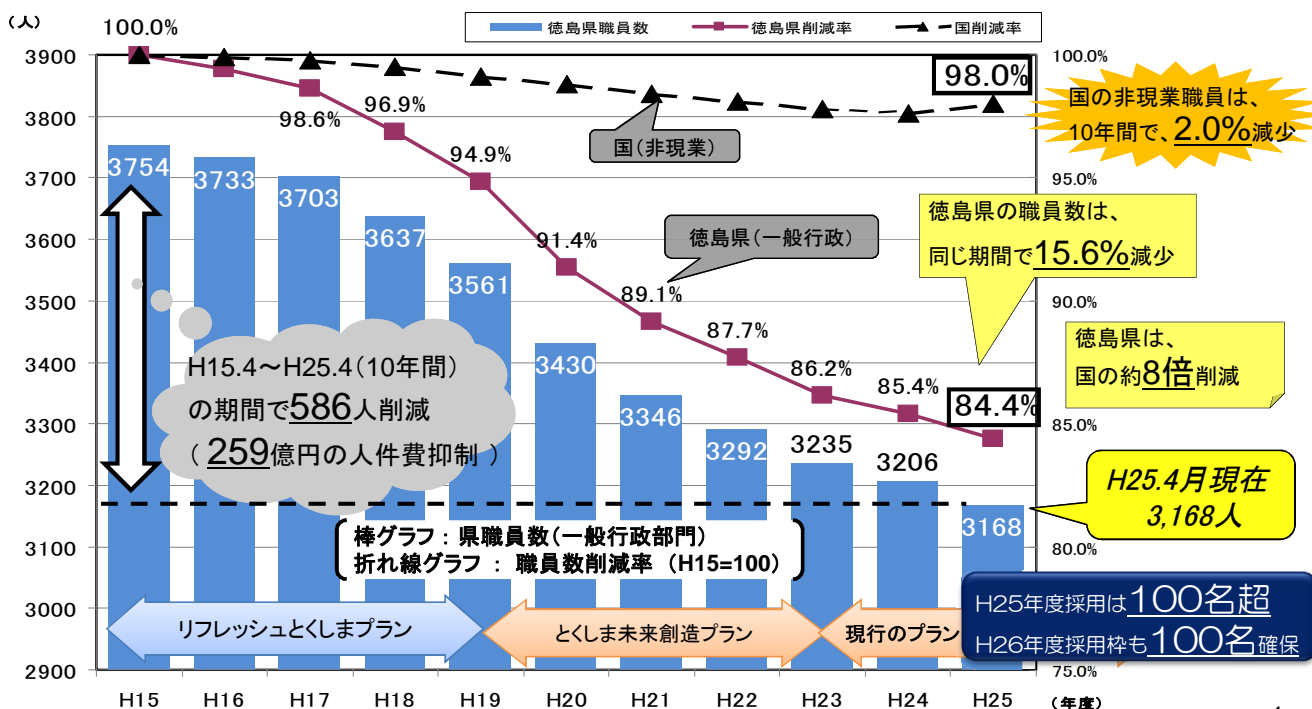
「とくしま未来創造プラン」 ～徳島からの新たな挑戦～

平成26年2月
徳島県

1 「夢を支える経営体」づくり

(1) 新しい人事・人材システムの推進

① 徳島県職員数の推移について



② 「雇用と年金の接続」への対応

公的年金の支給開始年齢の引き上げにより、無収入期間が発生

H24.3月 「国家公務員の雇用と年金の接続に関する基本方針」

フルタイム再任用による接続

- ・新規採用の抑制
- ・若者の雇用圧迫
- ・年齢構成のいびつさを助長

将来の組織活力の低下を招くおそれ

政策提言 地方の実情に応じて「短時間による再任用」も手法として導入するよう提言！

H25.3月 閣議決定
フルタイムだけでなく「短時間による再任用」も選択可能に！

本県では

「雇用と年金の接続」に係る再任用
H26年4月スタート

- ・いびつな年齢構成の是正を図るため原則「短時間による再任用」
- ・豊富な経験を有する退職者の能力を積極的に活用

- ・雇用と年金の確実な接続
- ・安定的な新規採用枠を確保
- ・産休、育休の代替として活用

2

(2) 「更なる歳出改革」の推進

◆職員給与の臨時的削減について

H20~22 削減率 給料△10~7%、管理職手当△15%

130億円

H23~24 削減率 給料 △5~1%、管理職手当△15%

26億円

復興財源として給与削減の要請、地方交付税カット

更に 地方交付税削減に対応する職員給与の臨時的削減

H25.7 削減率 給料△10~3%、管理職手当△10%

30億円

~26.3 期末勤勉手当△5%(管理職のみ)

- ・国はH25年度末で給与削減を終了
- ・地方に対しH26年度は、給与削減の要請なし

収支改善効果

6年3か月
計186億円

財政構造改革の
着実な成果

地域経済
への波及
民間給与
アップなど
に期待

「禁じ手」の職員給与
臨時的削減は
H26年3月で終了

◆内部管理経費の見直し

電気事業への参入規制緩和

四国四県では初

県6合同庁舎の電力調達に「競争入札」導入
(「環境負荷低減に関する基準」を満たす事業者を対象)

- ・H26年1月から調達開始
- ・年間約370万円のコスト縮減見込み
- ・環境に配慮した電力を調達
- ・電力市場の自由化を促進

新たな調達先：新電力「(株)エネット」

効果を検証し、更なる取組みを推進！

3

(3) 「新たな歳入確保」の展開

◆外部資金の活用

従来の先入観にとらわれず、幅広く活用！

海外における商業教育システム構築支援事業

【JICA】「草の根技術協力事業」活用 H25 13,600千円

カンボジア「日本友好学園」へ
徳島商業高校の「商業教育」を伝授



→ 適当な国の補助制度等が存在しない場合は

積極的に政策提言を実施！

◆未収金対策の強化

- ・副知事をトップに「未収金対策委員会」を設置
- ・全庁的な推進体制を整備し、取組みを強化

9つの債権を「重点未収金」として設定

- ・法的措置(支払督促、差押え)の対象範囲を拡大
- ・民間回収業者(サービサー)の活用
- ・県税務職員の市町村への長期派遣を実施 など

・財源の確保 ・県民負担の公平性

◆新運転免許センターでの歳入確保

- ・免許証の即日交付エリア拡大
 - ・実際の交通環境に即した「コース設定」など
- 更なるサービス、機能向上



H26年1月5日供用開始

平時

- ・交通安全教育の中核
- ・県北部の治安拠点

災害時

- ・「防災拠点」として活用

年間13万人の利用者に着目

県警初の「広告事業」を実施！

壁面広告(9枠)を確保

- 加えて
- ・入札による「自動販売機」設置
 - ・「車両の展示会」やコース使用による「試乗会」の開催も検討

年間約1千万円の歳入見込み

従来型と異なり
交流/直流の
変換ロスなし

【省電力化に向けた実証実験】

「直流電源による信号機」を設置

太陽光パネル



4

(4) 「新時代に相応しい組織・体制」の構築

◆重要課題に対する対応力を強化

「課題解決推進室」の設置

H25年11月

政策監補をトップに強力に施策を展開

- ・「TPP対策」
- ・「とくしまグローバル戦略」
- ・「とくしまの魅力発信」
- ・「県民総ぐるみのとくしま健康づくり」



- ・「部局連携」から一歩踏み込んだ対応
- ・「創造的実行力」で課題を解決

◆攻めの農林水産業をサポート

農畜水産物等輸出サポートセンター開設(H25年3月)

- ・輸出に関する手続き、物流や販路開拓を支援

更に

相談件数・約190件
商談中・約70件(H25.12末)



六次産業化サポートセンター開設 H25年12月

- ・生産から消費までの連携コーディネート
- ・地域資源を活用した商品作りを支援

もうかる農林水産業の実現！



◆特別支援教育の新たな拠点

H26年4月
開校

「徳島視覚支援学校」

「徳島聴覚支援学校」

幼稚部から高等部まで備えた盲・聾学校を併置



- ・タブレット端末の活用による効果的な学習支援
- ・教育相談体制の充実
- ・地域との交流の促進
- ・地域の防災施設 など

両校が互いの専門性を活かし、連携・協働

◆警察組織体制の見直し

15署体制から13署体制に再編



- ・人員を集約化し機動力、駐在所機能強化
- ・広域化する犯罪に対応

5

(5) 活力みなぎる職場づくり

◆テレワークの導入

災害時等における業務継続能力の向上

目標

ワーク・ライフ・バランスの実現

情報セキュリティ
環境整備

- ・情報漏洩等の心配がない環境を整備
- ・出張先や自宅から業務システムへアクセス



平時にも活用

非常時に対する備え

多様な働き方を推進

モバイルワークの推進

- ・タブレット端末を導入
- ・県民への即時説明や満足度向上

サテライトオフィスの設置

- ・本庁舎にサテライトオフィス設置
- ・業務効率の向上・環境負荷の軽減

子育てを行う職員をサポート

- ・育児休業中の職員の職場復帰を支援
- ・復帰に際してのサポートや情報提供

◆業務改善、超勤縮減の取組み

H25年度

<業務改善>

- ・報告件数 537件
- ・削減時間 約4万9千時間
- ・削減経費 約3千1百万円

<ひとり改善>

- ・報告件数 2,992件

最優秀

現場代理人及び主任技術者等設置マニュアルの作成



「超勤縮減」
アイデア提案

午後10時
帰宅を促す
音楽が...

職員一人ひとりが「ボトムアップ」で取組み

◆メンタルヘルス対策

メンタル不調の早期発見のため、「セルフチェックシステム」を導入



- ・JoruriGw内に設置
- ・職員のストレスの大きさと、心身への影響の度合いをチェック
- ・判定結果・アドバイスを表示
- ・相談窓口等を案内



6

(6) 公営企業等の新たな展開

◆過疎地における医療格差への対応

スマートフォンによる遠隔診療サポート **海部病院**

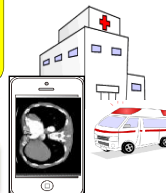
遠隔診療支援システム導入
(H25年2月)

病院を超えた
地域での活用は
全国初

院外専門医に治療方針の相談が可能

- H25年9月
- ・救急救命士にスマホを配布
 - ・病院医師と患者情報を共有

地方の医師不足・偏在を補完



◆あわ西部ネット

H26年2月稼働

「基幹病院」と「かかりつけ医」をICTで連携

患者の同意により診療情報を共有



治療計画づくり促進 → 一環した治療に！
重複検査を回避 → 患者負担を軽減！

◆とくしまの森林づくり推進体制の構築

(公社)徳島県林業公社

所有者に代わり森林整備を実施
・分収林事業 など

機能統合

(公社)とくしま森とみどりの会

県民・企業による森林づくりの拠点
・とくしま協働の森づくり など

H26年度

(公社)徳島森林づくり推進機構を創設

- ・森づくりのワンストップ窓口
- ・敵対的買収に対抗(公的セーフティネット)
- ・挙県一致の森林づくり



森林大国・徳島

7

2 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

(1) 「新しい行政モデル」の展開

◆自然エネルギーの導入促進

災害に強く、環境負荷の小さいまちづくり

グリーンニューディール基金の活用

全国最大級
18億円



防災拠点(県庁舎等)



H25年度
15か所整備

約80か所
整備予定
(市町村含む)

EV車の災害対応モデルの構築



◆近未来車両“DMV”を徳島で具現化

H14 JR北海道「DMV 開発着手」

H23 「夜間走行実験」
「デモンストレーション走行」
・モニター乗車



H25 「施設改築基本計画」策定
(道路とのアプローチ、測量・地質調査等)

徳島から「全国モデル」を発進！

◆人口減少社会の学校づくり

「少子化・過疎化」への対応 「徳島モデル」

チェーンスクール

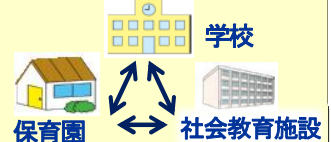
小規模を維持しつつ
複数校による連合体形成



互いに補い合う学校

パッケージスクール

保育園、社会教育施設等が担う
サービスを一体的に提供



地域全体の活性化

8

(2) 「地方の時代」に向けた連携強化

◆本四道路への全国共通料金制の導入

平成の大開所

「格差是正」を
求める運動を徳島から

H25.6月 「本四高速全国料金対応戦略」策定

H25.12.20 共通料金制導入決定



H26年度は「多彩な周年事業」を展開

- ・「剣山国定公園」指定50周年
- ・「室戸阿南海岸国定公園」指定50周年
- ・「瀬戸内海国立公園」指定80周年
- ・「四国霊場」開創1200年

“エポックメイ
ク”
の年

更に ワールドマスターズゲームズ2021 関西決定

「陸・海・空」の玄関が整備！
交通体系も進化する「H26年度」

陸

◆四国横断自動車道
・鳴門JCT～徳島IC 供用予定

「本四道路」と「徳島道」が直結！



海

◆徳島小松島港 沖洲ターミナル
・耐震強化岸壁・ふ頭 完成予定

・大型船舶化に対応
・オーシャン東九(東京～四国～九州)の本店(北九州)が徳島へ

空

◆徳島阿波おどり空港
・松茂スマートIC 供用予定

「阿波おどり空港」と
「高速道路」が直結！

四国西濃が進出



四国の
ハブに！

◆国への政策提言の実現

南海トラフ巨大地震への備え

震災に強い社会づくり条例 (H24.12.21施行)
震災対策基金条例

対策を加速するためには
「国を挙げた防災対策」や「財政支援」が不可欠

政策提言 「南海トラフ特別措置法」の早期制定を！

H25.12.27 法律 施行

津波避難対策の財政支援強化

安全安心の確保、
「死者ゼロ」の実現

スーパーハイビジョン(4K・8K)の普及推進

ワールドカップ・ブラジル(2014):4K放送開始決定

普及には更なる技術確立が不可欠
実証環境の整った優位性を活かすため

政策提言 CATVを実証実験の対象に！

H25年度 補正予算に反映

ブロードバンド環境を活かし
ビジネスチャンスを生み出す



全国4K祭(神山町)

9

(3) 県民、NPO等との「協働・連携」の取組み

◆南海トラフ巨大地震への備え

「徳島情報伝達訓練」の実施

H25.12.20

「緊急速報メールの伝達」や
「職場などで一斉の
待避行動訓練」を実施



「防災生涯学習推進
フォーラム」の開催

H26.1.11

こどもからお年寄りまで
幅広い世代が参加



「自助」をはじめとした防災意識向上

◆「河川協力団体」の指定

H25.6 河川法の一部改正

↓ 河川の環境保全活動を行うNPO等を支援

「河川協力団体指定制度」創設

H26.1.24 指定 **全国初**

対象 河川「新町川、助任川及び田宮川」
河川協力団体「NPO法人 新町川を守る会」

団体 ・自発的活動が促進

県 ・河川管理機能が強化

◆若者のアイデアで地域おこし

美波町をキャンパスに授業を実施

地域の活性化
交流人口の拡大

連携	地域	地元NPOなど
	大学	徳島大、四国大、徳島文理大
	行政	南部総合県民局、美波町

若者の視点による

- ・地域課題に対する提言
- ・地域資源の掘り起こし

H25年度延べ242名の学生が参加！



◆「徳島ヴォルティスJ1昇格おもてなし協議会」の設置

悲願
J1昇格！

教育、観光、交通など
関係75団体が連携



H26.1.15
対策案を決定

観客数 **最大1万7千人**
平均1万2千人 を想定

大幅に増える観客を
県を挙げて
OMOTENASHI

万全の受け入れ体制を整備

渋滞・輸送対策

- ・シャトルバスの運行
- ・周辺駐車場の確保

観光・宿泊・物産対策

- ・臨時案内所の設置
- ・アウェイでの物産PR・販売

10

3 県民目線の県政づくり

◆公共データの民間活用を推進

「宝の山」統計データを有効活用

県が保有する公共データ

統計情報

地理情報

観光

予算など

誰もが利用できる
「オープンデータ」に変換

ICT技術を活用

Xml 形式

rdf 形式

民間事業者等による利活用

新産業・新サービスの創出

スマホアプリの開発

マーケティング

- ・避難場所
- ・標高
- ・避難経路
- など

(例) 防災情報の活用

オープンデータを提供

防災アプリが適切な
避難場所へ誘導



◆公衆無線LANの整備

「全国屈指のブロードバンド環境」を最大限に活用

災害時



防災拠点

公園

- ・避難所や公園、防災拠点に
公衆無線LANアクセスポイント
を整備

災害時の通信手段を確保

平時

観光情報の提供・発信等への積極的活用

- ・SNSを活用し、徳島の魅力を全世界へ発信
- ・QRコードを活用し、外国人観光客の満足度向上



災害時と平時
リバーシブル
な活用

情報通信インフラの強靱化を実現

「県民の夢や希望の実現」に向けて

「とくしま未来創造プラン」
～徳島からの新たな挑戦～

